

病害虫情報5月の予報

情報提供 神奈川県農業技術センター
病害虫防除部

平成24年4月27日
神奈川県農業共済組合

I 5月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※ [防除要否] ◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし
[発生・防除時期] ——— 発生時期 ~~~~ 多発時期 ←——→ 防除適期

* 農薬に関する情報は、平成24年4月25日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				5月			6月		
				上	中	下	上		
イ	ばか苗病 いもち病 イソガレシチュウ	— — —	○ ○ ○	(は種) ←——→ 種子消毒				塗沫処理(30mL/乾燥籾1kg) テクリードCフロアブル [浸種前,1回] 7.5倍 + スミチオン乳剤 [は種前,1回] 100倍 ヘルシード乳剤 [浸種前,1回] 7.5倍 + スミチオン乳剤 [は種前,1回] 100倍 種子浸漬(24時間浸漬) テクリードCフロアブル [浸種前,1回] 200倍 + スミチオン乳剤 [は種前,1回] 1,000倍 ヘルシード乳剤 [浸種前,1回] 200倍 + スミチオン乳剤 [は種前,1回] 1,000倍 等	・イネシンガレセンチュウ防除のため、スミチオンを必ず加える。 ・もみ枯細菌病が心配される場合は、テクリードCを使用する。 ・種子消毒で使用した薬剤の廃液は、適正に処理する。
	苗立枯病	—	○	(は種) ←——→ 床土消毒				タチガレエース粉剤 [は種前,1回] 6~8g/箱 + ダコニール粉剤 [は種前,1回] 15~20g/箱 等	・育苗箱土壤に均一に混和する。
ネ	イネズグムシ ヒメトビウソカ (縮葉枯病)	— —	○ ○	(田植時) ←——→ 育苗箱施薬				(育苗箱施薬:散布) グラントオンコル粒剤 [移植3日前~移植当日,1回] 50g/箱 アドマイヤーCR箱粒剤 [は種時(覆土前)~移植当日,1回] 50g/箱 アドマイヤー箱粒剤 [移植2日前~移植当日,1回] 50~80g/箱 プリンズ粒剤 [は種時(覆土前)~移植当日,1回] 50g/箱 等	・ツマグロヨコバイの発生の多い地域では、アドマイヤーCR、アドマイヤーかグラントオンコルを使用する。 ・ニカメイチュウおよびイネツトムシ対策にはグラントオンコルかプリンズを使用する。 ・白葉枯病の発生が懸念されるほ場では、Dr.オリゼプリンズ粒剤6(育苗箱施薬,緑化期~移植当日,50g/箱)を使用するとよい。

I 5月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※ [防除要否] ◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし
 [発生・防除時期] ———— 発生時期 ~~~~ 多発時期 ←———— 防除適期

* 農薬に関する情報は、平成24年4月25日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				5月			6月		
				上	中	下	上		
カ ン キ ツ	生育	遅		《開花期》				<生育調査：足柄地区事務所根府川分室・普通温州>	
	灰色かび病	—	○					(予・治)ストロビードライフフロアブル [14日, 3回] 2,000~3,000倍	・満開～落花期に散布する。 ・ストロビー、ナリア、フロンサイド(2,000倍)は黒点病にも適用あり。 ・そうか病多発園ではフロンサイドを使用する。
	そうか病	やや多	○					(予・治)ナリアWDG みかん:[45日, 3回]、 みかんを除くかんきつ:[14日, 3回] 2,000倍 (予)フロンサイドSC [30日, 1回] 2,000~2,500倍等	
	かいよう病 (中晩柑類)	並	○	←———	←———	←———	←———	(予)コサイドDF [—, —]2,000倍+クレフノン200倍 (予)ICボルドー412 [—, —] 50倍等	・前年多発園では、必ず防除する。 ・ICボルドーは花卉が落ちる時期以降に使う。
ミカソハタニ	並	○	←———	←———	←———	←———	マシン油乳剤(97%、98%)	*マシン油乳剤は商品によって使用基準が異なるので、ラベルの記載に従うこと。	
ナ シ	生育	やや遅		《新梢伸長期》				<生育調査：果樹花き研究部・豊水>	
	黒星病	やや少	○	←———	←———	←———	←———	(予・治)インダーフロアブル [7日, 3回] 5,000~12,000倍 (予・治)ベルコートフロアブル[14日, 5回] 1,500倍 (予)キノンドーフロアブル [3日, 9回] 1,000倍等	・赤星病多発(または4月下旬に治療剤を散布していない)園では、5月早々にインダー(8,000~12,000倍)またはルピゲン水和剤([21日, 3回] 3,000~4,000倍)を散布する。
	アブラムシ類	—	○	←———	←———	←———	←———	アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤 [前日, 3回] 2,000倍	・アルバリン又はスタークルはシンクイムシ類、コナカイガラムシ類にも適用あり。
	カメムシ類	やや多	○	←———	←———	←———	←———	ハチハチフロアブル [14日, 2回] アブラムシ類：2,000倍等	・ハチハチはニセシサビダニ・チャノキイロアザミマ、シクイムシ類(1,000倍)にも適用あり。
	ニセシサビダニ	—	○					サンマイト水和剤[14日, 2回]1,000~1,500倍等	

I 5月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※ [防除要否] ◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし
 [発生・防除時期] ———— 発生時期 ~~~~~ 多発時期 ←———— 防除適期

* 農業に関する情報は、平成24年4月25日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				5月			6月		
				上	中	下	上		
チヤノホリカ ハマキムシ類	生育	やや遅		《摘採期》				<生育調査:北相地区事務所研究課・やぶきた>	
	チャノホリカ ハマキムシ類	やや多 並	○	—————	—————	—————	—————	エスマルクDF [発生初期但し7日,-] チャノホリカ、チャハマキ、チャノコクモンハマキ:1,000倍等	
	カサワハタニ	並	○	—————	~~~~~	~~~~~	~~~~~	コテツフロアブル [7日,2回] 2,000倍等	・コテツはチャノミドリヒメコバエ、チャノコクモンハマキにも適用あり。
	チャノイロアザミマ	やや多	○	—————	~~~~~	~~~~~	~~~~~	キラップフロアブル [7日,1回] 2,000倍等	・キラップはチャノイロアザミマ、チャノホリカにも適用あり。
促成	ツマゴロアカスミカ	やや少	○	—————	~~~~~	~~~~~	~~~~~	キラップフロアブル [7日,1回] 2,000倍等	・キラップはチャノイロアザミマ、チャノホリカにも適用あり。
	灰色かび病	やや少	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予)ボトキラー水和剤 [発病前~発病初期, -:ダクト内投入] 10~15g/10a/日 (予・治)カンタスドライフロアブル [前日, 3回] 1,000~1,500倍 (予・治)ロブラール水和剤 [前日, 3回] 1,000~1,500倍等	・発病部と枯葉を取り除き、施設の外に持ち出し、適正に処分する。 ・カンタスは葉かび病、菌核病にも適用あり。 ・マルハナバチへの影響(*) ボトキラー:無、カンタス:無 ロブラール:0日 (*)メーカー技術資料及び病害虫雑草防除指導指針より抜粋。以下同様。
マトマト	コナジラミ類 (オンシツコナジラミ)	やや少	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300倍 ハチハチ乳剤 [前日, 2回] 1,000~2,000倍 モスピラン水溶剤 [前日, 3回] 2,000倍	・収穫終了とともに施設を密閉、蒸し込みでコナジラミ類を死滅させること。 ・サンクリスタルはアブラムシ類・トマトサビダニ、ハダニ類・うどんこ病(300~600倍)にも適用あり。
	(タバココナジラミ) (TYLCV)	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	モスピラン水溶剤 [前日, 3回] 2,000倍	・ハチハチはミカンキイロアザミウマ・アブラムシ類・トマトサビダニ、ハモグリバエ類・うどんこ病(1,000倍)にも適用あり。 ・モスピランはアブラムシ類、アザミウマ類にも適用あり。 ・マルハナバチへの影響 サンクリスタル:無、ハチハチ:6日 モスピラン:1日

I 5月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※ [防除要否] ◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし
 [発生・防除時期] ——— 発生時期 ~~~~~ 多発時期 ←———— 防除適期

* 農薬に関する情報は、平成24年4月25日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				5月			6月		
				上	中	下	上		
促成	べと病	やや少	○	←————	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予・治)ランマンフロアブル [前日, 4回] 1,000~2,000倍 (予・治)ホライズンドライフフロアブル [前日, 3回] 2,500倍 (予・治)アリエッティ水和剤 [前日, 3回] 400~800倍 等	・ホライズンはシモキサニルとファモキサドンの混合剤。ベトファイター等と同一成分を含む。
	うどんこ病	並	○	←————	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予)インプレッション水和剤 [発病前~発病初期, -] 500~1,000倍 (予・治)アフエットフロアブル [前日, 3回] 2,000倍 (予・治)パンチョTF顆粒水和剤 [前日, 2回] 2,000倍 等	・インプレッションは灰色かび病にも適用あり。 ・アフエットは灰色かび病、菌核病にも適用あり。 ・パンチョTFはシフルフェナミドとトリフルミゾールの混合剤。トリフミン等と同一成分を含む。
ユウリ	ミナミキイロアザミウマ(MYSV)	並	○	←————	~~~~~	~~~~~	~~~~~	カスケード乳剤 [前日, 4回] ミナミキイロアザミウマ: 2,000~4,000倍 ベストガード水溶剤 [前日, 3回] 1,000~2,000倍 コテツフロアブル [前日, 3回] ミナミキイロアザミウマ: 2,000倍 モスピラン水溶剤 [前日, 3回] ミナミキイロアザミウマ: 2,000~4,000倍 コナジラミ類: 2,000倍 等	・収穫終了とともに施設を密閉、蒸し込みで死滅させること。 ・カスケード(2,000倍)はトマトハモグリバエにも適用あり。 ・ベストガードはアブラムシ類にも適用あり。 ・コテツはミカンキイロアザミウマ、ハダニ類にも適用あり。 ・モスピランはアブラムシ類(2,000~4,000倍)、ミカンキイロアザミウマ(2,000倍)にも適用あり。
	コナジラミ類(CCYV)	—	○	←————	~~~~~	~~~~~	~~~~~		

Ⅱ 防除情報 (1) ナシほ場で採取したハダニ類の薬剤感受性について

～同一薬剤の使用は年1回の使用にとどめ、
薬剤を長く大事に使いましょう～

インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>

テレフォンサービス 0463-58-6612

表1 ハダニ類雌成虫に対する各種薬剤の検定結果(薬剤処理72時間後に調査)

供試薬剤*1 (倍率)	カンザワハダニ		ナミハダニ				
	秦野市 鶴巻	藤沢市 遠藤	横浜市 小山	川崎市 黒川	相模原市 当麻	厚木市 愛甲	伊勢原市 串橋
	コテツFL(x2000)	◎	◎	×	×	△	○
コロマイトWP(x2000)	◎	◎	○	△	△	△	○
カネマイトFL(x1000)	◎	◎	◎	○	◎	○	◎
マイトコーネFL(x1000)	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
ダニサラバFL(x1000)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
スターマイトFL(x2000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

*1) WP:水和剤,FL:フロアブル

◎:効果は高い(補正死虫率96%以上)、○:効果はある(補正死虫率85%以上96%未満)

△:効果は認められるがその程度は低い(補正死虫率70%以上85%未満)、×:効果は低い(補正死虫率70%未満)

表2 ハダニ類卵に対する各種薬剤の検定結果(薬剤処理7日後に調査)

供試薬剤*1 (倍率)	カンザワハダニ		ナミハダニ				
	秦野市 鶴巻	藤沢市 遠藤	横浜市 小山	川崎市 黒川	相模原市 当麻	厚木市 愛甲	伊勢原市 串橋
	コテツFL(x2000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
コロマイトWP(x2000)	◎	◎	◎ ^L	◎ ^L	◎	◎	◎
カネマイトFL(x1000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
マイトコーネFL(x1000)	◎	◎	◎	◎ ^L	○	○	○
ダニサラバFL(x1000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
スターマイトFL(x2000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
バロックFL(x2000)	◎	◎	× ^L	× ^L	◎	× ^L	× ^L
ダニゲッターFL(x2000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

*1) WP:水和剤,FL:フロアブル

◎:効果は高い(補正殺卵率96%以上)、○:効果はある(補正殺卵率85%以上96%未満)

△:殺卵効果の程度は低い(補正殺卵率70%以上85%未満)、×:効果は低い(補正殺卵率70%未満)

L:孵化個体の一部が第1若虫以降まで生存

平成23年度のハダニ類薬剤感受性試験の結果を示しました(表1、2)。ハダニの種類や生育ステージおよび地域により、防除効果が低下している可能性がある薬剤があります。

ハダニ類は、現在効果が高い薬剤も、年に複数回使用すれば、薬剤感受性が低下しやすいと考えられます。

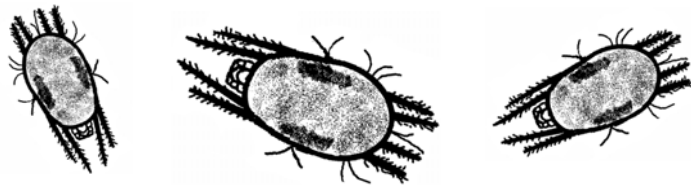
ハダニ類の薬剤感受性低下をさせないためには、

☆同一薬剤の使用は年1回にとどめる。

☆同一系統の薬剤の連用を避け、ローテーション散布を心掛ける。

物理的作用でハダニ類を防除する薬剤(粘着くん水和剤など)を用いることも効果的です。

上記のことを心掛け、効果の高い薬剤を長持ちさせるよう努めることが、長期的には個々の農業経営や産地にとってプラスになります。



病害虫情報 (H24・No. 2) 神奈川県農業技術センター

II 防除情報(2) 茶のクワシロカイガラムシの防除適期は5月下旬～6月上旬！！

ふ化最盛予測日の2～5日後に防除を行いましょう。

インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>
 テレホンサービス 0463-58-6612

茶の難防除害虫クワシロカイガラムシは、雌の産卵数が多く、増殖率が高いため、適期防除ができないと1世代で多発する恐れがあります。また、防除適期が幼虫ふ化最盛期後の数日に限られるため、適切な発生予測に基づいた防除を行うことが重要です。

今年のおふ化最盛日の予測は、表1、図1のとおりです。防除適期は、ふ化最盛日の2日後から5日後までの期間ですので、最寄りの基準地点と標高の差(表2)を参考に、防除を行うようにしてください。

表1 各地のクワシロカイガラムシの第1世代ふ化最盛日の予測と防除適期の目安

予測基準地点名	予測基準地点の概要	標高(m)	ふ化最盛予測日*	防除適期の目安
① 相模原市緑区寸沢嵐	県農業技術C北相地区事務所	170	5/29	5/31 ~ 6/3
② 厚木市七沢	県自然環境保全C	110	5/27	5/29 ~ 6/1
③ 平塚市上吉沢	県農業技術C代表調査地点	80	5/26	5/28 ~ 5/31
④ 山北町皆瀬川	県大野山乳牛育成牧場	550	6/14	6/16 ~ 6/19
⑤ 山北町川西	茶園	350	6/6	6/8 ~ 6/11
⑥ 南足柄市塚原	茶園	60	5/24	5/26 ~ 5/29
⑦ 小田原市扇町	アメダス	14	5/23	5/25 ~ 5/28
⑧ 小田原市根府川	県農業技術C根府川分室	130	5/28	5/30 ~ 6/2

※：ふ化時期に降雨が続く場合は、実際のふ化最盛日が予測日より遅れることがあります。

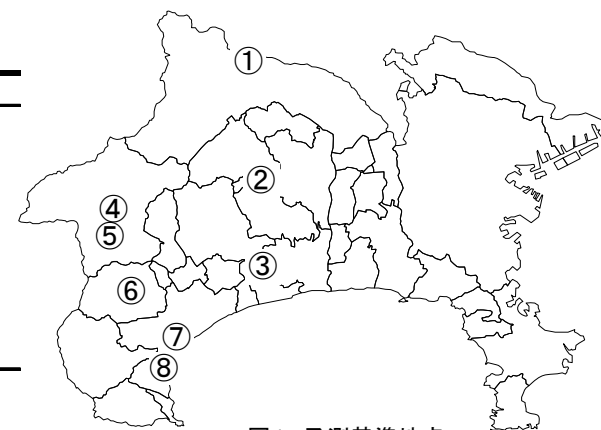


図1 予測基準地点

表2 温度計測地点所在地からの標高差と第1世代ふ化最盛予測日との関係(おおよそのイメージ)

予測基準地点からの標高差(m)	-100	-80	-60	-40	-20	0	+20	+40	+60	+80	+100
相模原市緑区寸沢嵐	5/25	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/29	5/30	5/31	6/1	6/2
厚木市七沢	5/23	5/24	5/25	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/30	5/31
平塚市上吉沢	—	5/23	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/29	5/30
山北町皆瀬川	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	—	—	—	—	—
山北町川西	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/10
南足柄市塚原	—	—	5/22	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29
小田原市扇町	—	—	—	—	—	5/23	5/24	5/25	5/26	5/26	5/27
小田原市根府川	5/24	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/29	5/30	5/31	6/1
<参考>補正日数の目安(日)	-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

[主な防除薬剤]

薬剤名	希釈倍率	使用時期及び回数
アブロード水和剤	1000倍	14日, 2回
アブロードエースフロアブル	1000倍	21日, 1回
スプラサイド乳剤40	1000~1500倍	14日, 1回
ダースバン乳剤40	1000倍	14日, 2回
カルホス乳剤	1500倍	21日, 1回

病害虫情報

(H24・No. 2)

神奈川県農業技術センター

Ⅲ 5月の気象予報 (気象庁 地球環境・海洋部 4月25日発表3か月予報)

〈天 気〉

天気は数日の周期で変わるとでしょう。

〈要素別予報〉

	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気 温	30%	40%	30%
降水量	30%	40%	30%

〈気象の経過〉 [観測地 横浜地方気象台]

4月第5半旬まで

平均気温は1, 3半旬は平年並、2, 4～5半旬は平年より低かった。

降水量は1, 3, 5半旬で平年より多く、2, 4半旬は平年より少なかった。

日照時間は1～2半旬は平年より多く、3半旬は平年並、4～5半旬は平年より少なかった。

*桜の開花日：4月2日(平年3月26日)、満開日：4月9日(平年4月3日)

